

米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についてのお話をお届けします。

ご挨拶

11月30日は「年金の日」（いいみらいの語呂合わせ）です。厚生労働省のHPを見ると、“国民一人ひとり、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らす日”とあります。

国民年金や厚生年金は私たちの老後の生活を支える基礎となるものです。自分の場合はどうなるのかを年金定期便や年金ネットで一度確認しておいてはいかがでしょうか？



お手元に保険料控除証明書は届いていますか？

保険料控除証明書は年末調整や確定申告に必要になります。再発行には時間がかかることがあります。もしお手元がない場合には早めにご連絡ください。

1か月1000万円以上の高額医療費の件数、過去最高

9月に健康保険連合会が発表した2020年度の「高額レセプト上位の概要」によると、1か月で1000万円以上かかる高額医療費の請求件数は1365件あり、前年度に比べて514件・60.4%増となりました。

最も高額だったのは昨年保険適用になった脊髄性筋萎縮症の治療薬、ゾルゲンスマを使ったもので1か月に1億7147万3440円でした。

高額請求上位

1	171,473,440	脊髄性筋萎縮
2	168,293,600	脊髄性筋萎縮
3	168,109,980	脊髄性筋萎縮
4	168,012,230	脊髄性筋萎縮
5	167,629,410	脊髄性筋萎縮
6	167,619,660	脊髄性筋萎縮
7	167,330,680	脊髄性筋萎縮
8	110,162,900	血友病A
9	60,569,670	血友病A
10	37,728,480	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫

今後も「優れた治療薬」が開発されると思います。患者や家族にとっては喜ばしいことですね。

一方、医療財政や高額療養費制度が現状のまま維持できるかなどは気になるところです。加入している保険などはしっかりと確認しておきたいですね。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店

〒543-0018

大阪市天王寺区空清町8-33 3A 090-1152-3889 yoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

生命保険の話で良く「万が一」と言いますが本当は？生命表で実際にはどのくらいの人が若くして亡くなっているか見てみましょう。

令和2年簡易生命表によると男性の平均寿命は81.64歳、女性の平均寿命は87.74歳でした。今後はますます寿命が延び人生100年時代など言われています。

下表は平均寿命の年次推移です。改めて日本人は長生きになったと実感しますね。

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
27	80.75	86.99	6.24
28	80.98	87.14	6.16
29	81.09	87.26	6.17
30	81.25	87.32	6.07
令和元	81.41	87.45	6.04
2	81.64	87.74	6.10

長い老後に備えるための準備が大切なことは多くの方が理解しています。

一方不幸にして早く亡くなってしまおう方がいるのも事実です。今月は長寿化や高齢化の引き合いに出される生命表を反対側から見てみます。

成人式を迎えた20歳、

無事定年を迎えるのは何人？

右上表は生命表（男性）より0歳、20歳、40歳、65歳の生存数を抜粋したものです。

年齢	生存数	死亡数	平均余命	平均寿命
0歳	100,000		81.64	81.64
20歳	99,545	455	61.97	81.97
40歳	98,385	1,160	42.57	82.57
65歳	89,722	8,663	20.05	85.05

生存数は0歳の日本人10万人がその後何人になっていくかを表しています。平均寿命とは0歳の人の平均余命で、現在81.64歳です。65歳まで生きている人の平均余命は20.02年なので平均寿命は85.05歳になります。

0歳児10万人のうち成人式を迎えることができたのは99,545人、455人が亡くなります。

その後40歳を迎えることができたのは98,385人、この間1,160人が亡くなっています。成人式の時に会った同級生100人のうち1人強が亡くなっている割合です。

40歳から65歳の25年間は8,663人亡くなっています。11人に一人ぐらいの割合です。会社の同僚の何人かは亡くなっているかもしれません。

この時期は社会でも家庭でも大きな責任を担っています。住宅や教育などの支出も多くなる時期ですね。

20歳から65歳でみると99,545人が89,722人と9,823人、割合にすると約1割が亡くなっています。生命保険の話をするときによく「万が一」と言いますが実際は「十が一」だったんですね。

老後の備えは勿論のこと、この「十が一」に対しての備えもしっかりとしておく必要がありますね。